

ゼミ研究活動の紹介

1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

■ これまでの卒論タイトルの例

- ①マックス・ウェーバーから読み解く経済と倫理
- ②S・ゲゼルの貨幣論
- ③ワーク・ライフ・バランス——女性労働力率と出生率の関係
- ④日本における子どもの貧困
- ⑤ゆるキャラビジネスと地域活性化について

■ ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

ゼミ生や教員の関心に沿って、これまで次のような研究をしてきました。

- ①経済学史——スミス、ケインズ、ミュルダールを中心に
→堂目卓生『アダム・スミス』、伊東光晴『ケインズ』、藤田菜々子『ミュルダールの経済学』、坂本達哉『社会思想の歴史』
- ②日本の経済制度や社会保障制度→各種文献、白書など
- ③スウェーデン・モデル→岡澤・斉藤編『スウェーデン・モデル』など

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

これまで行ってきた特別研究活動はおおよ次のとおりです（年度により異なります）。

- ①スウェーデンの特殊鋼企業サンドビック名古屋支社への訪問
- ②京都・龍谷大学経済学部の小峯ゼミとの合同ゼミ
- ③遠方の他大学の先生を招いての特別ゼミ（北海道や東京や京都などから来ていただきました）
- ④映画会——歴史・哲学を学ぶ映画として「ハンナ・アーレント」を見に行きました
- ⑤ゼミ合宿での勉強会
- ⑥ゼミ OB/OG 会の開催による卒業生（＝社会人）と在校生の交流